

第39回土木学会関東支部技術研究発表会において優秀発表者賞を受賞！

4年 横山 勇氣

2012年3月13日～14日に関東学院大学金沢八景キャンパスで開催された、第39回土木学会関東支部技術研究発表会において、社会環境デザイン工学科コンクリート研究室4年の横山勇氣君（現在、修士1年）が、優秀発表者賞を受賞しました。土木の全分野から計13名、横山君が研究発表を行った土質・地盤分野（Ⅲ部門）からは1名のみの受賞と、受賞者の数が非常に少なく、貴重な受賞といえます。

平成3年度から今回までの群馬大学関係者の受賞は9件あり、昨年度は栗原勇典君がコンクリート分野（Ⅴ部門）で受賞しました。横山君には、5月17日の表彰式において、表彰状とともに、副賞として記念の腕時計が贈呈されました。

横山君の研究発表のタイトルは「 $\text{Ca}(\text{OH})_2$ 水溶液の作用下におけるシリカフュームを混合したベントナイトの膨潤特性」で、元本専攻の半井健一郎准教授の連名によるものでした。本研究は、放射性廃棄物の処分施設の人工バリアとして使用が検討されているベントナイトにシリカフュームを混合することで、性能を向上させるとともに将来の劣化を抑制し、数万年という超長期の安定性を実現しようというものでした。シリカフュームという、コンクリート分野で使用されている材料を用いて地盤材料を改質するという、分野横断型の挑戦的な研究への取り組みに加え、わかりやすい発表や的確な質疑応答が高く評価されました。

なお、本研究は、横山君の卒業研究の内容の一部を取りまとめたものであり、本学科の発表会においても最優秀発表者賞を授与されております。本学科の研究活動の質の高さが、学外でもあらためて認められる機会となりました。